

日本文化体験・国際交流関連

1. 日本文化・企業見学旅行

6月24日に日本文化企業見学旅行を実施した。本旅行の目的は、留学生が日本の文化や歴史、技術への見聞を広め、留学生同士及び教職員との交流を深めることである。

姫路城では、日本の伝統建築を間近で観ると同時に、実際に歩くことにより、その広さ、壮大さを体感できた。

アサヒ飲料明石工場では、係員の方の説明を聞きながら、製造ラインを見学した。効率的に作動する製造ラインを見て、ペットボトルの再利用等、環境に配慮した工場の運営についても多くを学んだ。

留学生36人が参加し、日本を理解するだけではなく、様々な国の留学生同士がお互いを理解し交流する機会となった。



2. 多文化体験交流会

11月2日に徳島大学工業会館で多文化体験交流会を開催した。多文化体験交流会は、国際センターと徳島地域留学生交流推進協議会が主催するもので、大学祭の時期に合わせて、徳島地域の外国人留学生や日本人学生、地域の方々が交流を深めるために毎年行われている。留学生によるダンスや歌が、日本からは阿波踊りが披露された。10月初旬に来日した留学生が多く、今回の交流会は新しい友だちを作る良い機会にもなった。本交流会には日本人学生と地域の方々25人を含む約120人の参加者があった。留学生、日本人双方にとって、お互いの理解を深める場となるとともに、多文化の豊かさを感じさせる交流会となった。



3. 留学生文化理解促進のためのスタディ・ツアー

12月26日に留学生文化理解促進のためのスタディ・ツアーを実施した。テーマは「地域・日本人学生とともに学ぶ『日本の最先端技術と伝統文化』」で、本学外国人留学生23名、日本人学生（学生サポーター）3名、鳴門教育大学留学生4名及び地域サポーター3名が参加し、神戸の理化学研究所、人と防災未来センター、竹中大工道具館を見学した。

理化学研究所では、スーパーコンピュータ「京」を見学した。最先端技術について説明を受け「京」の実物を見た。人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災や東日本大震災の被害状況と復興の道のりを映像や展示物を通して学び、防災の知識を深めた。竹中大工道具館では日本に古くから伝わる大工道具を見学し、木彫りや組木の技術がどのように建築に活かされてきたかを学んだ。

訪問場所で多くを学んだことに加えて、留学生と日本人が活発に交流し、お互いの文化や考え方をすることもできた。



4. 日本文化・企業見学旅行（京都・大阪）

2月19～20日、留学生日本文化・企業見学旅行を実施した。本見学旅行は、留学生が日本の文化や歴史（金閣寺、京都御所、伏見稲荷大社）や技術（大阪造幣局、三菱自動車工業パワートレイン）への見聞を広め、留学生同士及び教職員との交流を深めることを目的としている。

大阪造幣局では説明動画を見た後、係員の方の説明を聞きながら、硬貨の製造ラインや展示場を見学した。見学を通じて、日本の硬貨の歴史や現状について多くを学んだ。

三菱自動車工業パワートレインでは、係員の方の説明を聞きながら、自動車エンジンの生産ラインを見学した。

金閣寺、京都御所、伏見稲荷大社では、日本の伝統建築を間近で観ると同時に、実際に歩いてみることで、その広さ、壮大さを体感した様子だった。

本旅行には留学生40人が参加した。

